

かしの木だより 6月号

<http://www.kashinoki-sh.spec.ed.jp>

No.3 令和3年6月14日(月)



運動会に想う、学校行事の意義



教頭 岡田 直人

去る5月25日(火)から28日(金)まで、学部・ブロック別の運動会を開催しました。小学部低学年・高学年、中学部、そして高等部と、4日間に分散して実施した今年度の運動会。昨年度は臨時休業により実施を見送りましたが、様々な工夫を重ねて各学部とも無事開催することができました。ご協力をいただいた保護者の皆様には、改めてお礼申し上げます。

子供たちが競技や発表に本気で取り組む姿は、観る者の胸を熱くさせます。児童生徒の特徴に応じて、楽しくチャレンジし甲斐があり、かつ感染症対策に万全を期した運動会プログラムを考案することは、率直に申し上げて、たやすいことではありませんでした。しかし、各学部と運動会実行委員会の教員がこれまで以上に緊密に連携して検討を重ね、安全で中身の詰まった運動会の実施にこぎつけました。そして当日、子供たちの挑戦する姿や達成感に満ちた笑顔を目の当たりにし、私自身、学校行事の意義を再認識させられました。行事とは、それを実施する過程において、子供たちも教員も飛躍的に成長する貴重な機会です。

依然としてコロナ禍にある現在はもちろん、アフターコロナにおける学校行事の姿は、恐らく従来の姿とは異なっていくと考えられます。持続可能性という点においては、準備や運営に完璧を期し、感染症対策も求められる行事のあり方に、課題は少なくありません。一方で、目標に向かって努力し、その成果を発揮すること、そしてそのような場を設定し児童生徒と教員とが協働して運営するという学校行事の意義は、極めて大きいものです。それらのバランスをどのように取っていくのか。今後も様々な行事を控える本校としても、保護者をはじめ関係者の皆様のご理解とご協力のもと試行錯誤が続きますが、引き続きご支援いただければ幸いです。

ちなみに、日本の学校では当たり前に行われる運動会ですが、世界的にはかなり珍しい教育活動です。地域やクラブチームの競技会はあっても、学校が企画運営する「運動会」のようなものは、世界的にはあまり行われていません。ですが、チームワークやフェアプレーの精神を培い、スポーツの楽しさを知る行事として、昨今日本式のUNDOKAIが注目され、今やアフリカの国々においてもUNDOKAIが広がっています。

アフリカ・マラウイの運動会⇒



～高等部紙工芸班～

紙工芸班では、牛乳パックを原料に手すき紙を作り、ポチ袋、メモ帳や一筆箋などの製品に加工しています。ミキサー班、紙すき班、加工班に分かれて、生徒一人ひとりが自分の担当に責任を持って取り組んでいます。「お客様に喜ばれる製品を作ること」を目標に、班全体でがんばっていきます。かしの木祭や職業教育フェアでも販売いたしますので、ぜひ応援をよろしくをお願いします。



～中学部手工芸班B～

今年度から中学部は手工芸班を手工芸班K、手工芸班Bに分け活動を行っています。手工芸班Bでは、ビーズ製品作りを中心に作業学習を行っています。生徒たちの実態に応じて、ビーズの大きさやテグスの太さを調整し、ブレスレットや眼鏡ストラップ、ネームストラップ等の製品を作っています。ビーズ製品作りを通して、手指の操作性や集中して取り組む力、作業をやり通す態度、基礎的なコミュニケーション手段を身につけられるように一生懸命取り組んでいます。



ブレスレット

眼鏡ストラップ

ネームストラップ

～小学部低学年～

今年度の運動会は、新型コロナウイルスの感染防止に配慮しながら、体育館にて、学年ごとに発表しました。子どもたちは、限られた練習時間の中で、本番に向けて一生懸命練習に励んできました。1年生は、音楽に合わせて、様々な身体の動きを表現するリズム運動と、徒競走を頑張りました。2年生は、大玉転がしとダンス「パプリカ」を披露しました。そして、小低最高学年の3年生は、ダンス「はなかつぱ・えがおのまほう」、かけっこ、バルーンの3種目を発表しました。当日は、普段の授業や練習と違う雰囲気でドキドキするお友達もいましたが、保護者の皆様には温かく見守っていただく中で、持てる力を精一杯発揮してくれたと思います。保護者の皆様には、体調管理等でご協力いただき、ありがとうございました。



～小学部高学年～

予行の日は雨で体育館での実施でしたが、運動会当日は天気にも恵まれました。運動会の見通しを児童に持ってもらったのか不安の残る中での実施でしたが、見通しを持って運動会に参加できた児童が多かったです。小学部の運動会は「徒競走」「学年別による棒とり合戦」の2種目を行いました。「徒競走」では50メートルの直線コースです。ゴール目指してみんな頑張りました。「棒とり合戦」では各学年の特長を表現しながら競技をすることができました。「〇〇組頑張るぞー」の応援合戦も盛り上がりました。

保護者の皆様には多大なご理解とご協力を頂きありがとうございました。また温かい応援等ありがとうございました。



学部・ブロック運動会

～中学部～

中学部の運動会では、学年統一テーマ種目と学年オリジナル種目の2種類を学年ごとで行いました。1年生は、徒競走ではホイッスルの音を聞き、一人一人ゴールを目指し走ることができました。台風の日では友達と協力して、一本の棒をつなぎ走り抜くことができました。2年生は、リレーでは入場から各チーム団結し、一人一人が持ち前の力を活かし走りました。ダンスでは昼休み等体育の授業以外の時間を使い日々練習した成果を発揮することができました。3年生は、リレーでは学年の絆を感じるような力強い走りを行うことができました。ソーラン節では、全員ねじり鉢巻きとはっぴを着て大漁を喜ぶ姿を全身で表現することができました。保護者の皆さまの多大なご理解とご協力、温かい応援やご家庭での体調管理等ありがとうございました。



～高等部～

高等部の運動会は「する」「みる」「ささえる」の3つのキーワードのもと、みんなで運動会を作っていこうと臨みました。「する」では全力プレーで楽しむこと、「みる」では仲間の頑張りを応援すること、「ささえる」ではみんなで協力し合って運動会を作ることに取り組んできました。得点種目の「徒競走」「綱引き」「リレー」ではチームが勝つために自分の持てる力を発揮し、そこから生まれる生徒たちの気迫やパワーを感じることができました。「ダンス」ではこれまで朝の運動で培ってきた表現力の集大成として、みんなの気持ちを一つにし、観る人を感動させる最高の演技を披露することができました。それ以外にも体育委員会を中心とした開閉会式の進行、放送委員会による全体を盛り上げるマイクパフォーマンス、用具係はみんなが楽しく、気持ち良く競技できるように用具の準備片付けを主体的に行ってくれました。本当に高等部全員の力が集結した素晴らしい運動会になったと思います。感染症対策も含め、観に来てくださった保護者の皆様、本当にありがとうございました。

